

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいりんく糸満ラポール			
○保護者評価実施期間	2025 (R7) 年 4月 1日 ～ 2026 (R8) 年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	11人
○従業者評価実施期間	2025 (R7) 年 4月 1日 ～ 2026 (R8) 年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026 (R8) 年 5月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・朝礼・夕礼に加え、必要に応じた情報共有を行い、PDCAサイクルを意識している。全体会議でもPDCAサイクルの確認を行っている。	・日々の朝礼・夕礼、月1回の全体会議で業務改善につなげている。	・継続して朝礼・夕礼を行い、全体会議で事例検討や事務分掌の検討等話し合いをする内容を深めていく。
2	・保護者面談を行い、ニーズの確認や子どもの様子の観察、発達検査の結果を踏まえて個別支援計画を作成している	・会議でアセスメントを立ててニーズや課題を分析している	・子どもなりのやりたい事・挑戦してみたい事などを聞き取り、目標・課題に向けた発達支援計画作成を行っている
3	送迎時や連絡帳を通して保護者へ伝え、日頃から子どもの状況や課題について話しをするよう心がけ、必要に応じて個別相談の時間を設けている。	・必要に応じて面談し相談を受け、子どもとの関わり方を伝え、外部の支援が必要と判断した場合は、外部との連携を速やかに実施している。	・ペアレントトレーニングの開催の定例化を図っていき たい(2025年度1回開催)

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・業務改善のための外部評価を実施できていない。	・現在は自己評価・保護者アンケート・内部会議が中心であり、第三者からの客観的な評価を取り入れる機会が確保できていない。	必要に応じて外部評価の実施を検討していく。
2	災害・緊急事態を想定した訓練について、家族等への周知が不足している。	・想定訓練は実施しているが、家族へ訓練内容を共有する仕組みが整っていない。	・想定訓練について家族等への周知徹底を図っていく。
3	・スーパーバイズや専門的助言を受ける機会が限られている。	・外部の専門家からスーパーバイズを受ける機会の体制化が課題となっている。	・必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けていく。